

No.2 支部委員会（関東・関西・北陸：2019年2月14日開催）議事録

職場統括委員：定員20名
支部委員会成立数：14名
出席人数：18名

項 目		質問 (職場統括委員)	答弁(執行部)	意見・要望 (職場統括委員)	執行部見解	審議結果(確認結果)
報告 確認 事項	第19期 長岡京支部体制および各種役員・委員選出に関する件	特に無し	-	特に無し	-	確認：17/18
	支部活動報告(2018年10月～12月)	特に無し	-	特に無し	-	確認：17/18
	支部会計報告(2018年10月～12月)	特に無し	-	特に無し	-	確認：18/18
審議 事項	【第1号議案】闘争体形確立・争議協定に関する件について	本議案は2109年は事情があって特別に闘争体形を整えるということか？	毎年、総合労働条件改善闘争に際し、労使協議会で解決できなかった事項について、団体交渉を行うための備えとして闘争体形を確立している。	特に無し	-	可決：18/18
	【第2号議案】2019年総合労働条件改善闘争に関する件に対する支部見解(案)について	特に無し	-	特に無し	-	可決：18/18
	【第3号議案】2019年度カレンダー設定について	特に無し	-	特に無し	-	可決：18/18
	【第4号議案】半導体ビジネスユニット モノづくり機能の強化に対する回答書(案)について	特に無し	-	賛成の立場で要望する。2回の会社説明と職場会を通じて明らかになった課題については「回答書(案)」に概ね網羅されている。一方で現場と責任者との風通しの悪さを実感しており、改善を強く要望する。 2回の会社説明、1回の職場会を通じても最後まで唐突感の払拭には至らなかった。会社施策は理解しつつも情報提供が遅く、具体的な姿も見えていない。組合への質問も納得できる回答は得られなかった。 会社説明、職場会論議を通じて、製造力強化の長期的な取り組みと今後のPIDEの施策との繋がりについて、最後まで理解が深まらなかった。特にPIDEへの期限を定めない出向への職場の納得性が得られなかった。 職場からは「枠組み」や「仕組み」がモノづくりの強化とどう結びついているか見えてこないという意見がある。現行もマニファクチャリングセンターの機能がPSCSとPIDEと分かれることで一体運営できるか、会社には別の意図があるのではないかと疑念が拭えない。	職場意見集約に感謝する。本申入れ対応の中で普段からコミュニケーションが弱い職場で施策の反発が顕在化している。執行部としては職場運営委員会等を通じて労使で論議しながら改善に取り組むので、職場統括委員にも協力いただきたい。 短い時間での職場意見集約に感謝する。3名の意見からは、2回の職場説明と職場会論議を通じて、会社施策については不完全ながらも理解が進んできたことが伺える。PIDE出向を含め、本申入れの内容が純粋に製造力強化策であり、別の意図(将来の転機やコスト削減等)がないことは労使協議の中でも確認している。しかしながら現時点でも未だ個人個人の納得性との乖離が大きいと認識しており、会社に対しては残された時間の中で混乱をきたすことの無いように対応を要請する。また、新体制発足以降も引き続き職場課題への迅速な対応を求めている。 組織体制変更はあくまで手段であることから、意味のある取り組みとなるには職場統括委員の協力が不可欠である。引き続き職場委員とも連携しながら職場単位で改善の取り組みをお願いしたい。 組合への要望については、適切な時期での情報共有を心がけていく。	可決：15/18
連絡 事項	・当面の主な日程について	-	-	-	-	-